

岩内町橋梁長寿命化修繕計画

平成24年12月
(令和5年4月改訂)

北海道 岩内町

1. 長寿命化修繕計画の目的

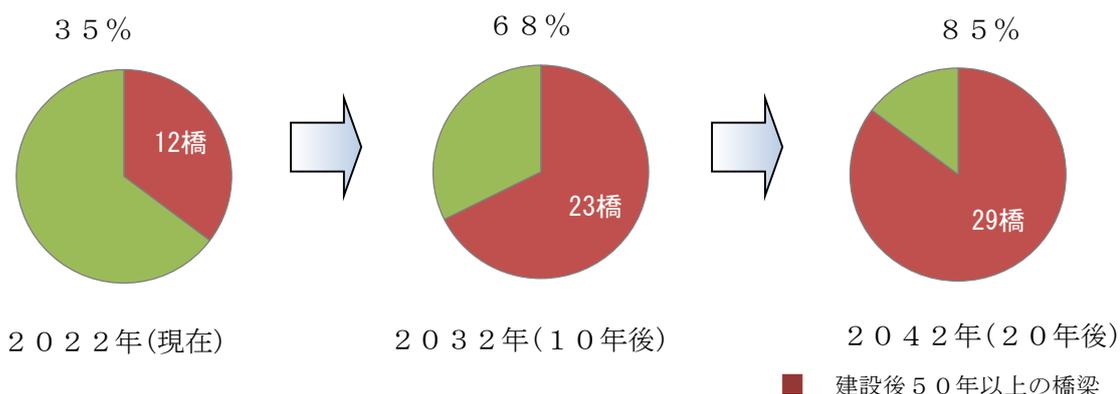
1) 背景

- ・岩内町における長寿命化修繕計画対象橋梁は、2022年現在34橋あり、このうち建設後50年を経過する高齢化橋梁は、12橋で35%を占めます。
- ・20年後には、この割合が85%を占め、急速に高齢化橋梁が増大します。
- ・今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠になります。

2) 目的

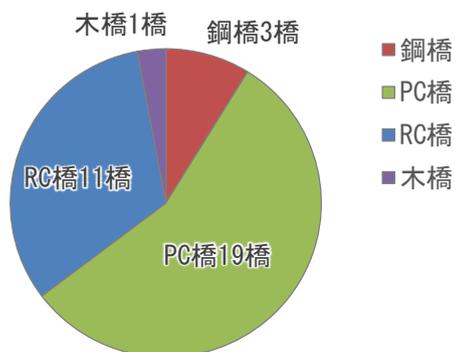
- ・定期点検による橋梁の状態把握、予防的な修繕及び計画的な架替えを着実に進め、橋梁の長寿化と橋梁の修繕・架替えに係る費用を縮減します。
- ・重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保していくために長寿命化修繕計画を策定します。
- ・管理橋梁は5年に1回の頻度で点検及び健全度評価を行うため、損傷の進行や新規損傷が認められた場合には、必要に応じてその評価に基づき修繕計画を見直す必要があります。

建設後50年以上の橋梁箇所数の増加



橋種別の橋梁数(2022年現在)

全橋梁34橋



宮園橋(橋長 7.50m)
昭和36年供用開始(61歳)

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

長寿命化修繕計画の対象とする橋梁は、岩内町が管理する全34橋を対象とします。
(橋)

| | 1級市道 | 2級市道 | その他市道 | 合計 |
|---------------|------|------|-------|----|
| 全管理橋梁数 | 13 | 10 | 11 | 34 |
| うち計画の対象橋梁数 | 13 | 10 | 11 | 34 |
| うちR5年度計画策定橋梁数 | 13 | 10 | 11 | 34 |

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに、「北海道市町村橋梁点検マニュアル（北海道道路メンテナンス会議）」に基づいて定期的に点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握します。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好状態に保つため、定期点検、異常時点検の他、日常的な維持管理として、橋梁を含めた道路パトロールやこまめな清掃などに努めます。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

1) 基本的な方針

- 健全度の把握および日常的な維持管理に関する基本方針に基づき、予防保全的な維持管理・修繕計画を実施し、修繕や架替えに必要な事業費の肥大化や無駄を排除し、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減を図ります。
- 詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握及び損傷状況に応じて橋梁長寿命化修繕計画を見直します。

2) 新技術等の活用方針

今後の老朽化対策においては、事業の効率化を図るため、従来工法のみではなく、新工法や新材料などの新技術等を加えた比較検討などを実施します。

①健全度の把握および日常的な維持管理に関する基本的な方針

令和5年度の定期点検から令和9年度までに管理する34橋のうち、対象7橋の橋梁で新技術の活用を目指します。

②対象橋梁の長寿命化および修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

修繕工事においても全ての橋梁で設計段階から新技術の活用を含めた検討を行います。

3) 集約化・撤去

架橋位置の周辺状況や利用状況及び代替路の有無を確認しましたが、集約可能な橋梁については現段階においては認められませんでした。

ただし、今後も引き続き町勢や橋梁使用状況を勘案するとともに、地域住民や関係機関との合意を確認して、令和9年度までに、管理する34橋のうち1橋について、路線・橋梁の集約化することを目標とします。

4) 費用の縮減

①新技術等の活用による縮減効果

令和9年度までに、管理する34橋のうち約2割程度について、新技術を活用した点検を実施することで、費用を約14%程度(200万円程度)縮減することを目標とします。

②集約・撤去による縮減効果

令和9年度までに、1橋の集約化及び撤去を検討することにより、維持管理コスト(点検費用+設計委託費用)を600万円程度縮減することを目標とします。

5) 対象橋梁の状態

対象橋梁の点検・診断結果は、別紙対象施設一覧による。

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

後述の様式1-2による

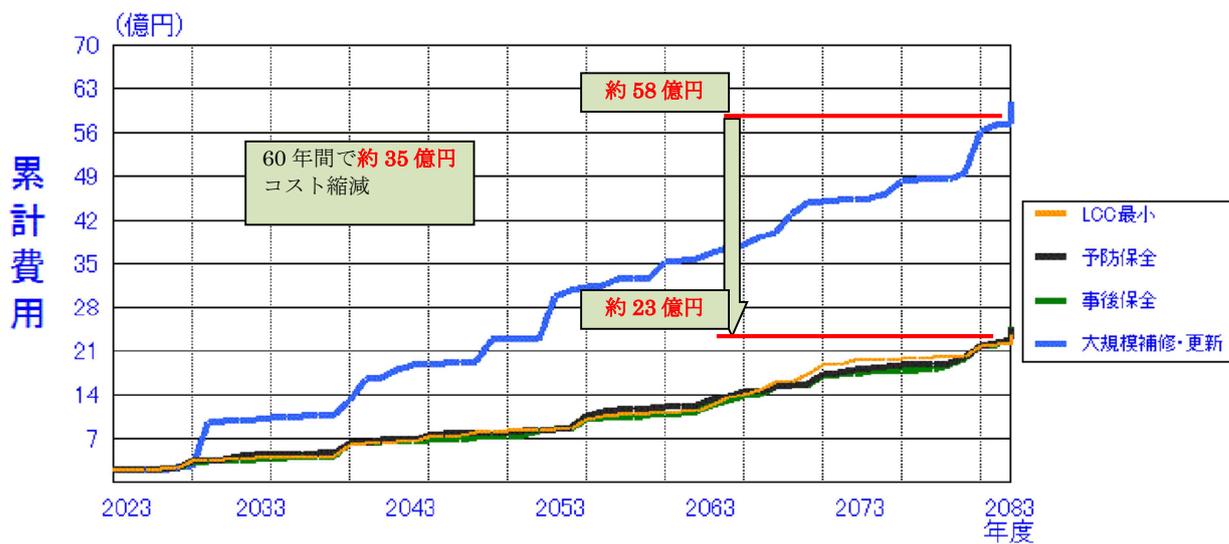
6. 長寿命化修繕計画による効果

この計画の対象橋梁34橋について、事後的な対応(大規模な補修や架替え)の場合と適切な時期に修繕等を実施する予防的な維持管理の場合のコストについて比較しました。

この計画に基づき予防的な維持管理に転換することで、今後60年間で検討した場合は、事後的な対応の場合は約58億円、予防的な維持管理の場合は約23億円となり、約35億円の維持管理コストの縮減が見込めます。

なお、上記の費用は各部位の標準的な耐用年数を想定して定期的に取り替える等、現時点での試算(Hoctec 北海道市町村橋梁管理システムにおけるWeb版BMS計算)であり、損傷進行度合いや今後の詳細検討などにより、変動することが考えられます。

保全・更新費用の推移



7. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

岩内町建設経済部 建設課 TEL : 0135-67-7097

岩内町橋梁長寿命化修繕計画 改訂履歴

| | |
|----------|---|
| 平成24年12月 | 制定 |
| 平成28年3月 | 更新（様式1-2修正 相生橋） |
| 平成30年4月 | 更新（長寿命化計画更新_1 巡目点検結果） |
| 平成31年3月 | 更新（様式1-2修正 西老古美橋） |
| 令和元年8月 | 更新（様式1-2修正 西老古美橋、老松橋、神社参道橋、雷電うきよ橋） |
| 令和2年3月 | 更新（様式1-2修正 西老古美橋、老松橋、神社参道橋、雷電うきよ橋） |
| 令和3年3月 | 更新（様式1-2修正 老古美三号橋、西老古美橋、老松橋、神社参道橋、雷電うきよ橋） |
| 令和3年11月 | 更新（長寿命化計画更新_新技術内容追加） |
| 令和5年3月 | 更新（長寿命化計画更新_新技術内容更新） |
| 令和5年4月 | 更新（長寿命化計画更新_2 巡目点検結果） |